

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	010	丹沢まつり補助金	事業3	001	丹沢まつり補助金

事業の概要

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内外から誘客を図り、観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 「秦野丹沢まつり」の運営費の一部を補助する。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 本市の観光宣伝、誘客、地域経済の振興に大きく貢献している。
- ・目標値 来場者数5万人以上

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421地域資源を生かした観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 5,500千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 6,200千円（市制施行70周年）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 6,000千円（第70回記念）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 5,500千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 安全祈願式、山開き式、慰霊祭、集中登山、山開きパレード等を実施
- ・令和7年度 安全祈願式、山開き式、慰霊祭、集中登山、山開きパレード（米倉丹後守子供大名行列の復活）等を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

祭り運営にあたり、人件費や原材料費等の高騰に伴い、事業費が増額傾向にある。各事業において、費用対効果等を分析した上で、事業を展開し、誘客を図る必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

第70回開催を記念した事業に取り組むとともに、表丹沢の魅力発信及び祭りを支える西地域の商店会をはじめとした団体と連携を図り、地域一体となった祭りを運営する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	010	丹沢まつり補助金	事業3	001	丹沢まつり補助金

- (1) 増減理由
市制施行70周年記念事業の終了に伴う減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度（第67回）5,500千円
令和6年度（第68回）5,500千円
令和7年度（第69回）6,200千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性・方向性・改善方法）[A]
「山開き式」を「里」（商店会及び協賛行事）が支える相互関係と祭りの伝統ある行事を大切にしながら、時代に沿った事業展開を図る。「秦野丹沢まつりが首都圏の山開きであるという認識の拡大及び定着」を目指し、今後の誘客に繋がるよう取り組む。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・効果額（うち一般財源） 1,000千円（0千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	020	たばこ祭補助金	事業3	001	たばこ祭補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内外から誘客を図り、観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 「秦野たばこ祭」の運営費の一部を補助する。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 本市最大の観光イベントとして、観光振興及び地域経済の活性化に大きく貢献している。
- ・目標値 来場者数36.5万人以上

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 27,000千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 27,300千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 28,000千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 28,000千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 「火」をテーマとしたストーリー性のある行事を軸に展開し、伝統を継承した上で、はだのふるさと大使の行事への出演などによる、新たな演出で祭りを盛り上げるとともに、安全対策の強化を図り、誰もが安心して楽しめる祭りとなるよう取り組んだ。
- ・令和7年度 伝統の「秦野たばこ音頭パレード」を継承するため、小中高生の参加を促進した。
また、市制施行70周年記念事業として、打上花火の充実や、「ジャンボ火起こし器」の芯棒のリニューアルを行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

祭り運営に当たり、警備やステージ運営に係る人件費や打上花火等の原材料費である固定費が高騰傾向にあることから、行事の見直しやスリム化を図る必要がある。
また、さらに多くの来場者を迎えるに当たって、会場のキャパシティに応じた警備体制について検討する必要がある。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	020	たばこ祭補助金	事業3	001	たばこ祭補助金

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

葉たばこ耕作に携わった先人の情熱を「火」にたとえ、ジャンボ火起こし綱引きコンテストの採火に始まり、弘法の火祭の「松明点火」、打上花火でフィナーレを迎えるストーリー性や祭りの伝統を重視した行事を展開する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

協賛金の減額を見込んだことに伴う増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度（第76回）27,000千円

令和6年度（第77回）27,000千円

令和7年度（第78回）27,300千円 ※市制施行70周年記念回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

物価高騰により事業費が増加していることから事業のスリム化を図り、さらに多くの来場者を迎えるにあたり、会場のキャパシティに応じた警備体制を整備する。

また、地域一体となって祭りに取り組むため、地元商店会と祭り会場の回遊を図り、今後の誘客に繋がるよう取り組む。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額 14,000千円

・内容 秦野市中心市街地活性化基本計画ソフト事業の支援対象とし、補助金の1/2が特別交付税の措置対象である。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	030	桜による誘客促進事業費	事業3	001	桜による誘客促進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 桜の名所を活用し、観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 桜のライトアップを実施し、誘客を図るとともに、桜が健全に育成するよう、適切な維持管理を行う。
- ・SDGs 8:働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効果 桜の名所を活用し、本市の知名度の向上や地域経済活性化を図るため、観光客を誘致する。
- ・目標値 はだの桜まつり来場者数30,000人
※ 令和6年度実績：30,600人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421地域資源を生かした観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：4,981千円（繰越明許分を含む。）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：5,771千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：5,778千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：5,778千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 はだの桜まつり（カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園のライトアップ事業等）、弘法山公園駐車場周辺警備
- ・令和7年度 はだの桜まつり（カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園のライトアップ事業等）、弘法山公園駐車場周辺警備

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

「桜咲く秦野盆地」の魅力発信に努め、積極的な誘客と観光客の周遊に繋げ、地域経済活性化を図る必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	030	桜による誘客促進事業費	事業3	001	桜による誘客促進事業費

- ・「桜咲く秦野盆地」の魅力発信のため、関連部署と連携して取り組む。
- ・はだの桜まつりをイベントとして実施するとともに、カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園においてライトアップを実施し、誘客を図る。
- ・桜まつりパンフレットを作成し、積極的な誘客を図るとともに、観光客の周遊に繋げる。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

パンフレットの用紙単価の上昇及び、周遊観光促進タクシーのチラシ製作費用の追加に伴う需用費の増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

桜まつりパンフレット用紙単価の推移（上質紙57.5kg・カラー・両面・A3）

- ・令和8年度予算額：8.5円/枚
- ・令和7年度予算額：7.1円/枚
- ・令和6年度予算額：6.6円/枚

周遊観光促進タクシーチラシ製作費用（上質紙44.5kg・カラー・両面・A4）

- ・用紙代3.2円+インク代3.2円×1,000枚=6,400円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

本市が桜の名所であることを継続的に発信するため、はだの桜まつりに合わせてライトアップ等を実施し、誘客を図るとともに、桜まつりパンフレットを作成し、観光客の周遊性を高め、地域経済の活性化に繋げる。

また、秦野市桜の植樹推進実行委員会では、桜の名所づくりに加え、桜の活用について検討するほか、市内桜イベントを一体的に開催できるよう、各団体と連携を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	040	観光施設維持管理費	事業3	001	観光施設維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 安全・安心で魅力ある観光地の創出を図る。
- ・内容 観光地の適切な維持管理を行う。
- ・SDGs 11：住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 施設の適切な維持管理により、安全に利用できる。
- ・目標値 観光地での事故件数ゼロ件

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）
第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 33,556千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 36,070千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 39,757千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 39,757千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 観光地や観光施設等の適切な維持管理等
- ・令和7年度 観光地や観光施設等の適切な維持管理等

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

公衆トイレをはじめ、施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕及び建替の検討をする必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

観光施設等の適切な維持管理

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	040	観光施設維持管理費	事業3	001	観光施設維持管理費

- ・ 修景整備員（会計年度任用職員）の給与等級上昇に伴う報酬の増。
- ・ 人件費等の高騰による委託料の増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
観光施設等の適切な維持管理の継続、公衆トイレをはじめとした施設の計画的な修繕及び建替の検討

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	001	観光協会補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 民間団体のノウハウにより、更なる観光振興を図る。
- ・内容 一般社団法人秦野市観光協会の運営費の一部を補助する。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 本市の魅力を発信し、市外・県外からの誘客を図り、地域経済の活性化に寄与する。
- ・目標値 観光入込客数 465.2万人以上（令和7年中間目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策422 協働と連携による観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 34,894千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 36,548千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 40,956千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 40,956千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 秦野駅への移転をきっかけに、オリジナルグッズ作製等を行うとともに、さらなる観光案内の充実を図るため、サービス向上につながる事業を検討した。
- ・令和7年度 新拠点への移転から1年を迎え、物販の拡充、小田急電鉄(株)と連携したグッズの作製や販売を開始した。また、周辺商店街と連携したイベントへの参加や手荷物預かりの試験導入等を実施した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

本市の魅力を発信する拠点として、具体的な施策に取り組むため、物販の拡充やオリジナルグッズの作製をはじめ、周辺商店街と連携したイベントに参加するなど、秦野駅周辺のにぎわい創出に取り組んだ。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

観光プロモーションを継続するとともに、観光客のニーズに合った情報の提供として、問い合わせが多い「グルメ」にフォーカスしたマップを新規作製する。また、立地を生かした観光振興施策について検討する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	001	観光協会補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

新規職員を採用することに伴い、職員雇用費の増。「グルメマップ」の新規作製に伴う増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

案内所実績 令和4年度 15,122件
 令和5年度 14,502件
 令和6年度 12,130件（令和7年度・2月時点 18,666件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

多くの観光客が訪れる秦野駅の利点を生かした事業を展開するとともに、自主自立に向けた財源確保を図るための事業を検討する。また、新規職員を採用し、今後の本市の観光振興を担う魅力ある人材の育成を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

都市構造再編集集中支援事業費補助金（観光費 補助率1/2）

効果額 153千円

内 容 秦野駅北口周辺の都市再生整備計画の取組に位置付け、歳入を確保する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	002	丹沢遭難対策協議会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 登山者の遭難事故件数の減少を図る。
- ・内容 丹沢遭難対策協議会の運営に対し、補助する。
- ・SDGs 17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市、警察、消防及び関係機関が連携した組織で活動することで、有事に際し迅速な捜索や救助活動を行うことができる。
- ・目標値 年間遭難事故件数 20件未満
※令和6年遭難事故件数：38件

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策422 協働と連携による観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 750千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 救助訓練の実施、山小屋に設置したAEDの維持管理、注意喚起看板等の設置、新規隊員の募集等
- ・令和7年度 救助訓練の実施、山小屋に設置したAEDの維持管理、登山者カードポストの作製、新規隊員の募集等

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

登山者数の増加に伴い、遭難事故も増加傾向にある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

登山初心者が増加していることから、登山者カードキャンペーン等の啓発活動を実施するとともに、道迷いの発生しやすい箇所には注意喚起看板を設置する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	002	丹沢遭難対策協議会補助金

- (1) 増減理由
増減なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度 750千円
令和6年度 750千円
令和7年度 750千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
登山初心者が増加していることから、引き続き、啓発活動を積極的に実施する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	003	観光振興事業交付金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 観光振興関係団体の活動を推進する。
- ・内容 観光振興に寄与する市民団体の運営の一部を補助する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 市内で観光振興に係る事業を行う団体の活動を支援し、訪れたいまちとして整備することで、誘客を図る。
- ・目標値 観光入込客数 465.2万人以上（令和7年中間目標値）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実、422 協働と連携による観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 320千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 380千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 377千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 377千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 市内観光振興団体（3団体）へ交付金の交付
- ・令和7年度 市内観光振興団体（3団体）へ交付金の交付

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

各団体の事業費、活動の実績に応じた交付金額を交付する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

各団体の事業費、活動の実績に応じた交付金額を交付する。必要に応じて、各団体へ活動状況等のヒアリングを行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	003	観光振興事業交付金

- (1) 増減理由
鶴巻温泉組合の事業活動の縮小に伴う減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度 4件（申請・交付）
令和6年度 3件（申請・交付）
令和7年度 3件（申請・交付）
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
各団体の事業費、活動の実績に応じた額を交付する。また、各団体へ活動状況等のヒアリング行うとともに、見直しについても検討していく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	060	花のある観光地づくり推進事業費	事業3	001	花のある観光地づくり推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 花のある観光地を創出し、誘客を図る。
- ・内容 観光地やハイキングコース沿いに花を栽培する。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
11：住み続けられるまちづくりを
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 観光客の増加及びSNS等での情報発信による本市の知名度向上
- ・目標値 主要事業地（弘法山・震生湖・頭高山・田原ふるさと公園）の観光客数651,482人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 1,626千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,450千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 1,447千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 1,447千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 ハイキングコース沿い等における遊休農地への花の栽培委託を行ったほか、弘法山及び震生湖において新たに花の栽培をした。
- ・令和7年度 ハイキングコース沿い等における遊休農地への花の栽培委託を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

多くのハイカーや観光客が訪れる箇所への栽培及び作柄状況の改善が必要

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

化成肥料を使い、作柄改善に取り組む

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	060	花のある観光地づくり推進事業費	事業3	001	花のある観光地づくり推進事業費

- (1) 増減理由
事業地の見直しに伴う減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
主要事業地（弘法山・震生湖・頭高山・田原ふるさと公園）の観光客数
令和6年度 626,185人（実績値）
令和7年度 638,708人（目標値）
令和8年度 651,482人（目標値）
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
本市の知名度向上や経済効果を生み出せる場所に花の栽培ができるよう事業を実施する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	070	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費	事業3	001	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 観光及び地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上を図る。
- ・内容 市営日帰り温泉入浴施設の運営
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野市及び鶴巻温泉の知名度向上、観光消費の増加
- ・目標値 年間利用者数17万人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市鶴巻温泉弘法の里湯条例
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：138,734千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：191,120千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：153,619千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 温泉情報サイトの活用や地元商店会、飲食店等と連携して各種キャンペーンを実施し、知名度向上や観光消費の増加、地域回遊性の向上を図った。
安全、安心に利用するため、適切に機器等の点検や更新を行った。
- ・令和7年度 老朽化が指摘された浴室天井の改修工事のほか、館内照明のLED化、高圧引込設備や駐車場設備を更新し、利用者の安全、安心、快適性の向上に努めた。また、地域経済活性化に資するよう、地元商店会や飲食店等が実施するイベントのため、施設駐車場を開放した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

低山ハイキングブームを背景に、開館23年目の令和6年度に過去最高の年間入館者数を記録するなど、温浴施設のニーズは高い。地域経済振興のため、地域が当施設の集客力を活用する取組を進めていく必要がある。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	070	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費	事業3	001	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

開設25年を令和8年10月に控え、施設設備の老朽化が進行している。

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 施設の適切な維持管理、広報宣伝により、鶴巻のにぎわいづくりの拠点として集客に努める。当施設の集客力が活用できるよう、地域事業者と連携を進める。
 物価等の上昇傾向が続く中、施設、機器等の更新が滞りなく実施できるよう、検討を進める。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 ・開館日数、キャッシュレス利用者数の増に伴う光熱水、手数料等、各種経費の増。
 ・会計年度任用職員の給与等級上昇に伴う報酬の増。
 ・照明設備更新工事等の完了に伴う工事請負費の減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和7年度営業予定日数284日 令和8年度営業予定日数312日
 キャッシュレス率 37.3% (R6) → 41.3% (R7上半期)
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 「秦野市公共施設保全計画」に基づき、老朽化した設備等の計画的な改修を進める。
 温浴施設の法定耐用年数到来を見据え、施設の在り方の検討を進める。
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	080	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費	事業3	001	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 鶴巻温泉地域の観光振興と地域活性化を図る。
- ・内容 源泉「つるまき千の湯」の適正な維持管理を行う。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域資源を活用した鶴巻温泉の観光振興とにぎわい創出を図る。
- ・目標値 鶴巻温泉観光客数 20万人以上
※ 令和6年実績値195,142人を超えるもの。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）、第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 5,607千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 6,236千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 7,353千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 4,151千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 大山～鶴巻温泉バス季節運行で誘客を図るとともに、地元が主体となったイベントを実施し、地域資源を活用した事業を展開した。
- ・令和7年度 源泉設備の適正な維持管理等を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

鶴巻温泉地域のにぎわい創出の核となる「つるまき千の湯」について、適正な維持管理に取り組むとともに、活用方法を検討する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

源泉設備及び配管の適正な維持管理等を継続して行っていく。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	080	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費	事業3	001	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
ブースターポンプ保守点検の追加及び遠隔監視システムの更新に伴う委託料の増。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

鶴巻温泉地域の観光振興及びにぎわい創出を図るため、地域活性化の核となる「つるまき千の湯」について、適正な維持管理に取り組むとともに、活用方法を検討する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	090	震生湖周辺整備事業費	事業3	001	震生湖周辺整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 渋沢丘陵周辺の観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 震生湖の適正な維持管理を行う。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
11：住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 震生湖の豊かな自然環境を保全し、良好な景観の向上を図りながら、市民や観光客が心身ともに休憩でき、親しまれる憩いの場とする。
- ・目標値 震生湖年間観光客数 6万人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）
第2期観光振興基本計画、秦野市都市マスタープラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 47,980千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,023千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 2,233千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 6,732千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 震生湖周辺の維持管理及び太鼓橋架替工事の実施
- ・令和7年度 震生湖周辺の維持管理及び太鼓橋架替工事の実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

散策道の柵の傾きやウッドチップの剥がれが目立ち、歩きやすいとは言えない状況。
同一箇所散策道の崩落が続いていることから、雨水対策工事が必要である。[議会]

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

散策道の崩落個所の水路整備工事を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	090	震生湖周辺整備事業費	事業3	001	震生湖周辺整備事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

水路整備に伴う工事請負費の増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

湖畔から見る四季折々の風景や地質・歴史的な震災遺構などの魅力を楽しんでいただくため、自然環境の保全及び良好な景観の創出を継続して進めていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	100	名水はだの富士見の湯管理運営費	事業3	001	名水はだの富士見の湯管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 観光及び地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上を図る。
- ・内容 指定管理制度による公共日帰り温泉施設の運営
- ・SDGs 3:すべての人に健康と福祉を
8:働きがいも経済成長も
11:住み続けられるまちづくりを
17:パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の健康増進及び弘法山とその周辺の観光振興、観光消費額の増加
- ・目標値 年間利用者数17万人（令和6年度実績値：16.4万人）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 名水はだの富士見の湯条例
- ・計画 総合計画（基本施策422 協働と連携による観光振興の充実）
第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 4,452千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 15,375千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 7,734千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 5,045千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 男性用サウナの経年劣化による座面の張替修繕を実施。
- ・令和7年度 キャッシュレス決済対応機器や冷水機等、利便性向上のための機器を導入。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

- ・ピーク時に入浴待ちが発生している。
- ・配管のフランジパッキンの経年劣化により水漏れが散見される。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

脱衣ロッカーの更新を行ない省スペース化を図るとともに、配管のフランジパッキンを交換する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	100	名水はだの富士見の湯管理運営費	事業3	001	名水はだの富士見の湯管理運営費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

三方弁修繕やキャッシュレス決済機器導入等、大規模な事業の完了に伴う減。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

サービスの品質向上及びコスト削減による利益率増を図るとともに、設備の故障等で利用者に影響が出ないよう、施設の保全について市と指定管理者で連携し、計画的に進めていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 7,620千円（0千円）

・内容 指定管理者納付金及び秦野市還元金として指定管理者から利益の各1/4が支払われるもの。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	110	ヤビツ峠周辺観光振興事業費	事業3	001	ヤビツ峠周辺観光振興事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 ヤビツ峠周辺の観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 ヤビツ峠レストハウスの適正の維持管理を行う。
- ・SDGs 8:働きがいも経済成長も
15:陸の豊かさを守ろう
17:パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 本市の代表的な観光資源である表丹沢への観光客及び観光消費額の増加を図る。
- ・目標値 表丹沢観光客数 91.7万人以上 (R5数値を目標)
1人あたりの観光消費額 1,273円以上 (R5数値を目標)

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）
第2期秦野市観光振興基本計画、表丹沢魅力づくり構想
ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 2,298千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 657千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 1,925千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 657千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 ヤビツ峠レストハウスの維持管理、各種広報宣伝、向山林道ハイキングコースの整備等
- ・令和7年度 ヤビツ峠レストハウスの維持管理、各種広報宣伝、向山林道ハイキングコースの整備等

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

エントランス階段のウッドチップ舗装が劣化しているため、再整備を行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	110	ヤビツ峠周辺観光振興事業費	事業3	001	ヤビツ峠周辺観光振興事業費

エントランス階段のウッドチップ舗装の再整備

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
ウッドチップ舗装に伴う工事請負の増。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

観光客及び観光消費額の増加を図るため、ヤビツ峠レストハウス運営者と連携し、来訪者のニーズに合ったサービスを提供する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	120	弘法山公園周辺観光振興事業費	事業3	001	弘法山公園周辺観光振興事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 弘法山公園周辺の観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 令和5年度に策定した「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、環境整備や広報宣伝を行う。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効果 弘法山公園の広報宣伝に合わせ、周辺地域の魅力を発信することで、観光客の誘致及び市内経済の活性化につなげる。
- ・目標値 年間観光客数 55万人（令和6年実績50万人+5万人を目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）
第2期観光振興基本計画、秦野市弘法山公園利活用方針

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 12,330千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 14,517千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 2,959千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 20,000千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 環境整備（デッキ整備、バードサンクチュアリ改修等）、キッチンカーによる実証実験
- ・令和7年度 環境整備（馬場道広場への電源設備設置等）、広報宣伝（登山系WebサイトへのPR広告、インフルエンサーを活用した広報宣伝）、弘法山ガイドブックの作製

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

- 「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、取組を検討・実施する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	120	弘法山公園周辺観光振興事業費	事業3	001	弘法山公園周辺観光振興事業費

インフルエンサーを活用した広報宣伝、浅間山駐車場整備工事

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
広報宣伝に係る項目の見直しや、用地取得の完了に伴う減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、取組を検討・実施する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
かながわ観光連携エリア推進事業補助金（補助率1/2）
効果額 1,361千円
内 容 県央やまなみエリアの周遊を促す取組として位置付け、歳入を確保する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	140	表丹沢野外活動センター管理運営費	事業3	001	表丹沢野外活動センター管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 表丹沢の観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・内容 指定管理者と連携し、「表丹沢野外活動センター」の適切な管理運営を行う。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 表丹沢における山岳・里山アクティビティの活性化を図るとともに、市内外からの交流人口増加を図る。
- ・目標値 施設利用者数15,800人（令和6年実績より算出）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市表丹沢野外活動センター条例
- ・計画 総合計画（基本施策421 地域資源を生かした観光振興の充実）
第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 73,447千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 67,761千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 47,573千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 60,332千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 指定管理者による管理・運営。
- ・令和7年度 利用者数増加に向けて学校団体の誘致等を実施。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

利用者の満足度向上のため、施設サービスやイベントの拡充に取り組んだ。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

指定管理者と連携し、観光利用の促進を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	140	表丹沢野外活動センター管理運営費	事業3	001	表丹沢野外活動センター管理運営費

- (1) 増減理由
大規模な外壁塗装工事が完了したことに伴う減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
適正な施設管理が行われるよう、指定管理者と連携を密にし、調整を図る。
また、公共施設保全計画に沿って維持管理を進めていく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	150	観光事務費	事業3	001	観光事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 円滑な観光振興事業を推進する。
- ・内容 観光振興を図るための事務を行う。
- ・SDGs 11：住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 円滑な事務処理による各種観光施策の推進
- ・目標値 なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 第2期観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 4,552千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 5,342千円
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 5,477千円
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 5,477千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 観光地入込調査の実施、各種協議会への参加
- ・令和7年度 観光地入込調査の実施、各種協議会への参加

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

観光地入込観光客数の調査方法等について検討する必要がある。

5 令和8年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

観光地入込観光客数の調査方法等を検討する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員の給与等級上昇に伴う報酬等の増。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	150	観光事務費	事業3	001	観光事務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
・入込調査を継続して行い、その結果を各種観光施策へ有効活用する。
・各種協議会へ参加し、観光施策へ活用できる情報収集等に努める。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし